

塩尻市スポーツ推進計画（第2期）の概要について

計画策定の趣旨・位置付け

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、社会経済活動が大幅に制限されるなど、スポーツ界においても、幅広く影響を受けることとなりました。

本市では「30年後も“人や組織を惹きつける地域”」であり続けるために、『第六次塩尻市総合計画』を策定し、令和6年4月から運用を開始します。今回の改訂は、スポーツ基本法第10条第1項に基づき本市独自の計画として、また、総合計画におけるスポーツに関する個別計画として位置付け、国の第3期スポーツ基本計画及び県の第3次スポーツ推進計画を参酌の上、各種施策の成果等の検証を行い、『第2期塩尻市スポーツ推進計画』を策定するものです。

計画期間

令和6年度（2024年度）～令和14年度（2032年度）9年間

基本理念と3つの柱

- ◆基本理念◆ 『未来に輝く健康スポーツ都市しおじり』 ⇒ 『スポーツの力で輝き続けるまち 塩尻』
- ◆3つの柱◆
 - I スポーツがつくる 元気あふれる地域
 - II スポーツがつなぐ “人”と“ひと”
 - III スポーツでめぎす 健康長寿の暮らし

計画の体系図（第1期）

基本目標	基本施策	施策の展開
①子どものスポーツの機会の充実	1-1 子どもの体力・運動能力の向上	1-1-1 幼児期から運動に親しむための教室等の開催 1-1-2 多様なスポーツに親しむ機会の創出 1-1-3 子どもが地域でスポーツに親しめる環境の整備
	1-2 学校体育に関する活動の充実	1-2-1 小中学校を通じた子どもの体力向上への取り組みの充実 1-2-2 学校と地域の競技団体等との連携のための体制づくり 1-2-3 社会体育指導者の活用や学校との連携
	1-3 子どもを取り巻くスポーツ環境の充実	1-3-1 社会体育活動の充実 1-3-2 子どもを指導する地域指導者の情報収集・整理と育成 1-3-3 子どもが多様なスポーツと出会う機会となる教室やイベントの開催 1-3-4 子どもに夢を与えるトップアス 1-3-5 子どもが安心してスポーツに親しめる施設等の整備リートとの交流の推進
②ライフスタイル・ステージに応じたスポーツ活動の推進	2-1 ライフスタイル・ステージに応じたスポーツ活動の推進	2-1-1 各種スポーツ大会・イベント等の実施 2-1-2 スポーツに参加しやすい環境や機会の充実 2-1-3 スポーツ推進委員等の活動の充実 2-1-4 高齢者や障がい者がスポーツに親しむ環境整備 2-1-5 子どもから大人まで、スポーツを通じた世代間交流 2-1-6 若者がスポーツに親しむ機会の提供
	2-2 スポーツと健康づくりの連携	2-2-1 スポーツの普及による健康づくり・介護予防の推進 2-2-2 高齢者のための健康・体力づくり教室の充実 2-2-3 スポーツ事故や傷害防止のための安全対策と情報提供
	2-3 スポーツに関する情報の充実	2-3-1 スポーツに関する情報提供の拡大 2-3-2 スポーツ推進委員等の活動のPRと活用 2-3-3 スポーツ施設に関する情報提供
③スポーツを通じた地域づくり	3-1 地域のスポーツ環境の整備	3-1-1 住民が主体的に参画する機会の充実
	3-2 地域におけるスポーツ活動の充実	3-2-1 スポーツ活動団体の充実・支援 3-2-2 スポーツ推進委員等による地域スポーツの底辺拡大 3-2-3 総合型地域スポーツクラブの育成と活動の活性化 3-2-4 スポーツ・ニーズの集約・情報提供 3-2-5 体育協会との連携・協力によるスポーツに親しむ環境の充実
	3-3 地域の大学・企業・団体等との連携	3-3-1 地域の企業や大学・各種学校の人材や施設の活用と連携によるスポーツの推進 3-3-2 総合型地域スポーツクラブ等における学生ボランティアの活用支援 3-3-3 高校生と園児・小学生など、世代を超えた交流機会の充実と活動支援
	3-4 スポーツによる地域の活性化	3-4-1 スポーツを活用したコミュニケーションの場づくり 3-4-2 スポーツ産業の広がりによる各種事業の展開
④競技スポーツの振興	4-1 ジュニア期からの選手の育成・支援	4-1-1 スポーツ団体の活動支援 4-1-2 地域のアスリート等の指導による選手の育成 4-1-3 競技スポーツの普及・推進事業の充実 4-1-4 プロスポーツチームや大学との交流や活用 4-1-5 アスリートの競技スポーツにおける自己実現の支援
	4-2 トップレベルのスポーツを支える地域の環境整備	4-2-1 プロスポーツクラブへの支援の拡充 4-2-2 トップアスリートによるスポーツ教室・イベント等の開催の促進 4-2-3 各種スポーツ大会の開催支援と在り方の検討
⑤スポーツに関わる人材の育成	5-1 地域で活躍できる指導者の発掘、育成	5-1-1 指導者の活動支援 5-1-2 スポーツ推進委員等の資質向上 5-1-3 身近な指導者の発掘、情報の提供 5-1-4 総合型地域スポーツクラブを生かした取り組み 5-1-5 一貫した指導体制の構築 5-1-6 障がい者スポーツの指導者の育成
	5-2 トップアスリートから地域指導者への連携	5-2-1 トップアスリートとの交流と指導 5-2-2 地域のアスリートが地域の指導者として活動できる環境整備
⑥スポーツ施設の整備と有効活用	6-1 公共スポーツ施設の整備・充実	6-1-1 身近なスポーツ施設の整備・充実 6-1-2 公共スポーツ施設等のバリアフリー化や耐震化等の安全対策 6-1-3 拠点スポーツ施設の整備・充実
	6-2 学校体育施設の有効活用	6-2-1 学校体育施設を有効活用するための管理・運営方法の検討 6-2-2 学校体育施設の計画的な改修や更新
	6-3 スポーツ活動のできる地域施設の有効活用	6-3-1 民間企業や大学のスポーツ施設の活用 6-3-2 スポーツ活動のできる地域施設の情報収集と提供

第1期に掲げた「目標6項目・基本施策18項目・施策展開59項目」について評価・検証を行い
第2期は「目標4項目、基本施策9項目、施策展開25項目」に重点を絞った計画に改正

計画の体系図（第2期）

基本目標	基本施策	施策の概要	施策の展開
①子どもの運動・スポーツ活動の推進と充実	1-1 子どもの体力・運動能力の向上	幼児期から運動習慣が身に付くプログラムを展開し、小中学生には多様な運動・スポーツに出会える場の提供を充実していきます。また、部活動の地域移行に向けた取り組みを推進していきます。	1-1-1 幼児期からの運動プログラムの推進 1-1-2 小中学生の体力・運動能力向上への取り組みの充実
	1-2 部活動地域移行に向けた各種団体との連携		1-2-1 塩尻市中学校部活動地域移行等協議会との情報共有と移行への推進 1-2-2 学校や地域、競技団体等と連携した部活動指導者の環境の構築
②多様性を尊重した生涯スポーツ活動の推進	2-1 多様性、ライフスタイル・ステージに適応したスポーツ活動の推進	誰もが、公平で安全かつ快適に運動・スポーツが楽しめるような環境の整備を進めるとともに、ライフスタイル・ステージに対応できる生涯スポーツ社会の実現を目指します。	2-1-1 スポーツによる多様性を尊重できるプラットフォームの構築 2-1-2 現役世代や子育て世代、女性のスポーツの推進 2-1-3 高齢者に向けた健康・体力づくりの推進と充実 2-1-4 障がい者スポーツの推進 2-1-5 プロスポーツチームとの交流
	2-2 運動・スポーツによる健康・体力づくりの連携		2-2-1 身体活動・運動の推進 2-2-2 県や市の関係する部署との連携による健康・体力づくり講座の推進 2-2-3 スポーツ推進委員等の活動の充実と活用の推進
③競技力の向上	3-1 選手の育成と支援	適切な体育施設の提供と各競技の指導者を充実することで、継続的な取り組みを進めます。また、競技力の向上に努めるとともに、競技人口の減少に歯止めをかける施策を展開していきます。	3-1-1 競技スポーツの普及・推進事業の充実 3-1-2 スポーツ施設の充実 3-1-3 各種スポーツ大会の開催支援
	3-2 指導者の発掘と育成・活用		3-2-1 一貫した指導体制の構築 3-2-2 指導者の活動支援
④スポーツの持つ力を活用した地域活性化の推進	4-1 地域のスポーツ資源の活用と連携	スポーツ協会などと連携した、スポーツイベントを開催し、人とひととのスポーツを通じた交流により地域の活性化を図ります。また、第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会（信州やまなみ国スポ・全障スポ）による交流促進	4-1-1 スポーツを通じた人々の交流促進 4-1-2 スポーツツーリズムの推進による地域経済の活性化 4-1-3 総合型地域スポーツクラブの活動支援
	4-2 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会（信州やまなみ国スポ・全障スポ）による交流促進		4-2-1 関係機関と連携した組織の構築 4-2-2 市民が一体となった気運の醸成
	4-3 スポーツによる人々のつながり・絆		4-3-1 スポーツ参画人口の拡大（「する」「みる」「ささえる」スポーツ） 4-3-2 eスポーツを通じた交流の促進 4-3-3 プロスポーツチームとの連携

第2期の指標

基本目標 ①

指標	運動習慣事業の実施回数	基準値 (R5)	14回	目標値 (R14)	19回 (全3年)
指標	指導者向け講習の開催回数	基準値 (R4)	年0回	目標値 (R14)	年5回以上

基本目標 ②

指標	週1日以上、運動やスポーツに親しむ20歳以上の割合	基準値 (R5)	43.9%	目標値 (R14)	55.0%
	子どもから高齢者まで誰でもスポーツに取り組める環境があると感じる人の割合	基準値 (R5)	38.8%	目標値 (R14)	50.0%

基本目標 ③

指標	スポーツ少年団登録者数	基準値 (R5)	492人	目標値 (R14)	470人
	市民スポーツ祭参加者数	基準値 (R5)	1,674人	目標値 (R14)	2,000人

基本目標 ④

指標	体育施設の利用者数	基準値 (R5)	163,879人	目標値 (R14)	190,000人
	市内の総合型地域スポーツクラブの数	基準値 (R4)	1クラブ	目標値 (R14)	2クラブ